

## コロナ禍の調理に関わる指導

コロナ禍の調理実習。  
今、どうしてますか？

コロナ禍での家庭科調理実習の工夫について  
各学校の実態に合わせて参考に見てみてください。

短時間で行うには？密にならないためには？試食は？

## ◇授業実施する前に・・・



以下のことを視野に入れてよりよい実施をお願いします。

<p><b><u>該当学年への</u></b> 協力要請</p>	<p><b><u>管理職へ</u></b> 相談・連絡・報告</p>	<p><b><u>教科担任は</u></b> 調理実習計画 立案 <b>感染対策の検討</b></p>
<p><b><u>保護者への</u></b>周知と 協力依頼</p>	<p><b><u>全職員で</u></b>実施を 共有</p>	<p><b><u>児童生徒への</u></b> 事前指導事項と 約束</p>
<p>調理実習をしな かった場合の<b>会計</b> <b>処理</b></p>	<p>当日までの 体調管理や 当日の<b>体調把握</b></p>	<p>当日の指導内容・ 記録・座席等</p>

## ◇ 実習の指導 《家庭科》

これまで調理実習の  
指導で行ってきたこと

3 実習の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 施設・設備の安全管理に配慮し、学習環境を整備するとともに、熱源や用具、機械などの取扱いに注意して事故防止の指導を徹底すること (学習指導要領 解説 家庭編)

コロナ対策  
の視点

- 安全管理・機械類の使い方も含め、実習室の使い方に関する安全規則を定め、**掲示したり、指導計画の中に位置付けたりする。**事故や災害が発生した場合の対応についても指導を徹底する。
- 学習環境・採光、**通風、換気**等に留意する。**作業能率や動線を考慮**して設備を配備したり、作業台の**間隔を十分確保**したりして、事故防止に努める。

## ◇ 実習の指導 《家庭科》

3 実習の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(2) 服装を整え、衛生に留意して用具の手入れや保管を適切に行うこと。

**これまでの指導にコロナ感染対策の視点を入れ見直しを図ってください。**

■ 服装・活動しやすく安全性に配慮したもの。

(例) 清潔で汚れが分かりやすい、袖口が作業に適したもの、髪の毛が落ちないように三角巾の着用。

**手洗い、爪、学習のルールづくり。**

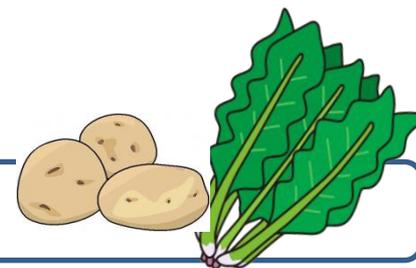
コロナ対策  
の視点

■ 用具の手入れや管理

・加熱調理器具の周りの汚れの**拭き取り**。  
包丁・まな板・ふきん等の**安全な保管**など。

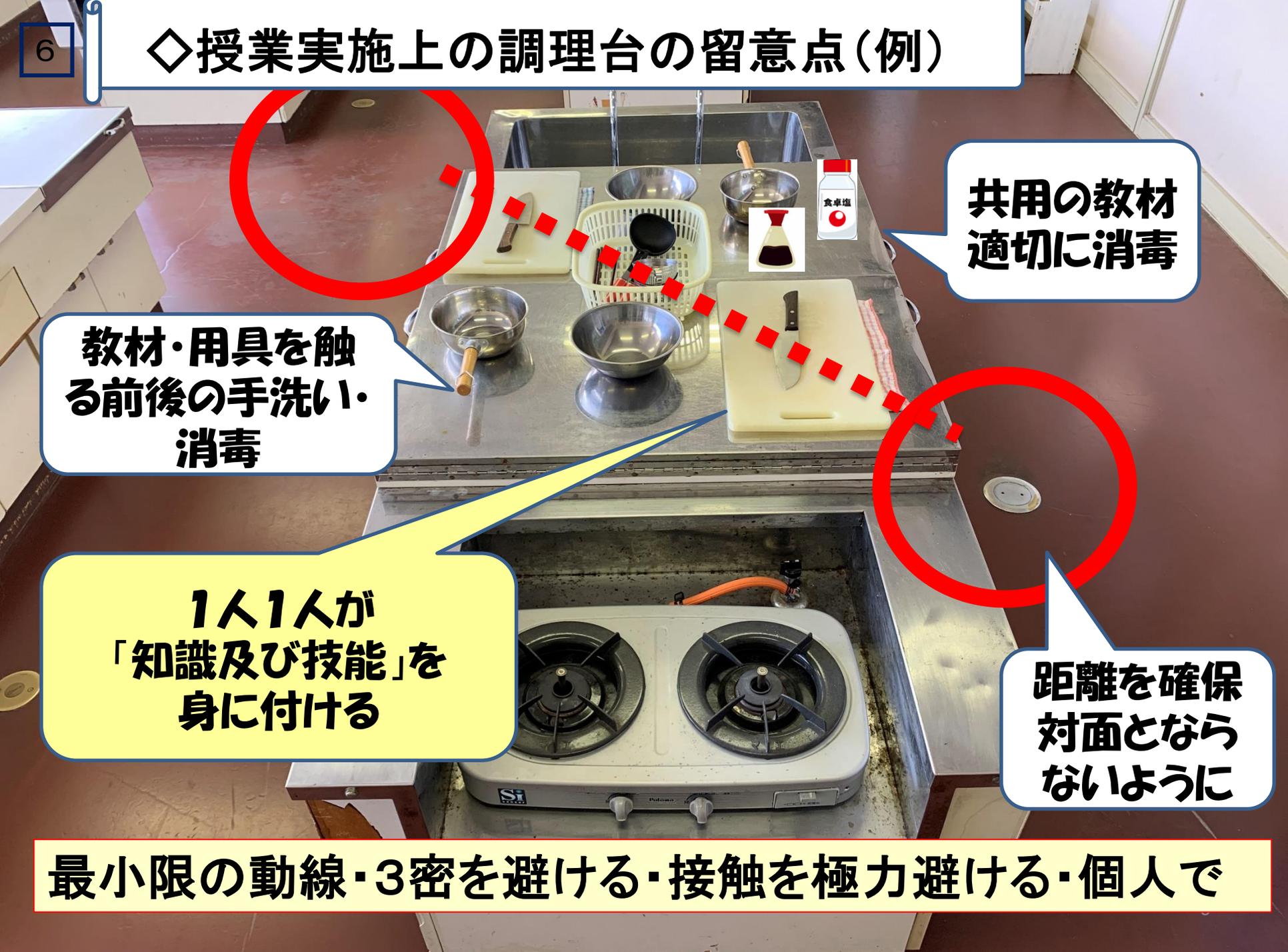
# ◇授業実施上の留意点(例)

学習展開の中でコロナ禍だから気を付けること



学習過程	手順	留意点
1 準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で使用する用具を準備</li> <li>・動線や立ち位置、距離の取り方、用具の使用のルールの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑石けんでの手洗い・消毒の徹底</li> <li>☑身支度の徹底</li> <li>☑換気(窓を開け換気扇)最初から常時</li> </ul>
2 調理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の分を洗う、切る、焼くなど調理をする。</li> <li>・盛り付け・配膳など自分で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑身体的距離を保つ。</li> <li>☑1人1調理を基本とする。</li> <li>☑共用する前後で手洗い・除菌行為</li> <li>☑教師が調味料を量ったり切ったりして材料を用意する際はビニール手袋をする等して気を付ける。</li> <li>☑味見、用具の共有しない。</li> </ul>
<p>1人で見通しをもってできるために、教師は板書・調理台等、指導援助の準備しておく。</p>		
3 試食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黙食。プリントに記入等、じっくり評価をしながら試食</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑給食時と同様の指導</li> </ul>
4 片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で素早く片付ける。</li> <li>・手洗い・消毒をして終了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑共用した教材・教具を適切に消毒</li> <li>☑実習後の手洗いの実施</li> <li>☑時間短縮を図る工夫</li> </ul>

## ◇授業実施上の調理台の留意点(例)



教材・用具を触る前後の手洗い・消毒

共用の教材  
適切に消毒

1人1人が  
「知識及び技能」を  
身に付ける

距離を確保  
対面となら  
ないように

最小限の動線・3密を避ける・接触を極力避ける・個人で

# ◇授業実施上の調理実習のポイント(例)

**調理実習**  
「実感」を  
伴って理解

**調理実験**  
「実感」を  
伴って理解

**観察  
調査  
比較**

**必要最小限  
短時間の実施の工夫  
小中の学習内容の連携**

**授業のねらいに即して「活動を精選、回数、時間をしぼる」**

8

# ◇密を避けるための調理実習の工夫

ークラスの人数が多い場合の方法(例)ー



**クラスを3つに分けて実施**

1時間の授業でローテーション

Aグループ	Bグループ	Cグループ
調理実習	ICT活用した 献立の作成	ICT活用した 献立の作成
実習の振り返り	調理実習	献立の助言
献立の評価・改善	実習の振り返り	調理実習



**ICTの効果的な活用**

■人数の多い学級での実習は一度に実施できないことがある。

学年職員、栄養教諭等の協力で別室でICTを活用して調べたり、  
実習の振り返りをさせたりして密にならないようにすることも考えられる。

# 「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」 が学校で実施できない場合の指導の例

■今後の感染状況により、地域によっては指導順序の変更という手段によってもなお学校における調理実習の実施が困難な見通しとなった場合。



■「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動の実施における『学びの保証』の方向性等について」(令和2年5月15日初等中等教育局長通知)に示すような「教師による適切な事前・事後指導と授業以外の場における学習の組合せによる指導計画を立案」して指導にあたることが考えられる。



■指導計画の作成、指導の展開は、児童生徒の発達の段階や地域の実態等を踏まえ、各学校が適切に判断すべきもの。

# 「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」 が学校で実施できない場合の指導の例



## ①事前指導

### 調理の手順やポイントの理解を図る

例) 「おいしいごはんのみそ汁を作ろう」

- ・大根、油揚げ、ねぎの切り方や入れ方を確認する。
- ・だしの取り方を確認する。

★教師が示範を見せる、写真などや動画等、残す。

★「なぜそのようにするか」手順の根拠を示す。



実践

## ②実践の振り返り

ICTの活用

### 家庭で調理の実践を図る→振り返り

★事前指導で扱った調理のポイントと照らした実践の振り返りの記録を求める。



## 事後指導

### 小テストや実技テストを行い評価する

★技能の定着を見取る。

★家庭での実践だけで終わらない。

★調理の実践の振り返りと照らし合わせて学習評価を行う。

# 「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」 が学校で**実施できない**場合の指導の例

## 家で実施した場合の確認テストの例

### 確認テストの例)

D子さんは、次のようにみそ汁を作りましたが、おいしくできあがらず、がっかりしています。どうしたらおいしくできるかについて理由とともにD子さんに説明しましょう。

#### 〈実と切り方〉

・ねぎ(厚さ2mmの小口切り)・油あげ(幅1cmのたんざく切り)・大根(厚さ5mmのいちよう切り)



にぼしで、だしをとった後、分量のみそをなべに入れて、さいばしで混ぜました。その後、ねぎ、油あげを入れて2分ほど煮てから、大根を入れてさらに1分煮て、火を止め、おわんに注ぎました。

(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より)

#### 回答:【D子さんへの説明】

- ・火が通りにくい大根、油あげの順に入れる。
- ・実に火が通ったらみそを入れ、香りを損なわないように沸騰したら火を止める
- ・ねぎは最後に入れ、香りを損なわないようにする。

# 「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」 が学校で**実施できない**場合の指導の例

すべての子供に…



一部の児童生徒について、家庭での実践が困難な状況がある場合には、別途、放課後等の機会を活用して、感染予防措置を十分に講じた上で、学校での少人数での補習を実施するなどの工夫も考えられる。

- 指導計画の作成、指導の展開は、**児童生徒の発達の段階や地域の実態等を踏まえ、各学校が適切に判断すべきもの。**

**安易に家庭での実践を行うのではなく、学校での実施が困難な時に、家庭での実施をお願いします。**